

高齢者見守り特集号

No. 85 (平成 31(2019)年 2月) 清瀬市消費生活センター

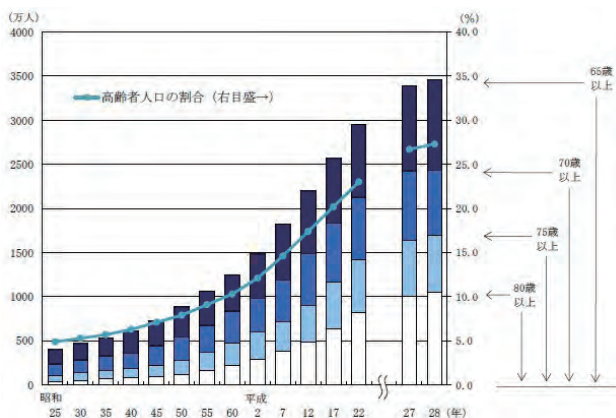


ちえのわ

地域の見守りで、高齢者の消費者被害を防ぎましょう！

誰もが想像以上に長生きする時代になりました。清瀬市でも、人口74,824人のうち、65歳以上の高齢者は20,868人おり、全人口の27.8%を占めています（平成30年12月1日現在）。一人、もしくは夫婦だけで暮らす高齢者世帯も増えています。

高齢者人口及び割合の推移（昭和25年～平成28年）



出典：総務省統計局ホームページ

このような社会状況の変化にともない、高齢者を狙った消費者トラブルが後を絶ちません。清瀬市消費生活センターでは年間約1000件の消費生活相談が寄せられており、そのうちの約半数が60歳以上の方の相談となっています。

こうした高齢者の消費者トラブルを防ぐためには、高齢者ご自身への情報提供を十分に行い、問題意識を高めてもらうことはもちろんですが、ご家族や地域、民生委員、介護ヘルパーなど、周囲の「見守り」が求められています。

「見守り」は決して難しいことではありません。まず大切なことは、普段の暮らしの中で高齢者と交流をはかり、関係を作っておくことです。家族や近所に住む私たちが日ごろから高齢者の様子を気に掛けることが、高齢者を消費者被害から守ることにつながるのです。

清瀬市では平成29年度から地域包括支援センターと連携して、高齢者の見守りを行う方や関係機関の皆さまに、消費生活相談員による講座（高齢者見守りネットワーク事業）を実施しています。また、啓発グッズの配布、防災防犯課と連携してオレオレ詐欺など消費者被害防止のための「自動通話録音機」の貸出を行っています。



出前講座をご利用ください！

◆詳しいことは消費生活センターへお問い合わせください。

清瀬市消費生活センターでは、高齢者や障がい者を狙う悪質業者の手口や消費者被害を発見した時の対応、見守りのポイントなどについて、消費生活相談員がお話しします。

どんな様子に注意すればいい？

「気づき」のチェックポイント



高齢者や身の回りに次のような変化が見られたら、消費者トラブルに巻きまれている恐れがあります。気になる高齢者を見かけたら、消費生活センターの相談に行くことをお勧めください。

一緒に暮らしていて…

- 見慣れない段ボールや新しい商品がある
- 急に外出が増えた
- 外出から帰ると様子がおかしい
- 外出時の服装が急に派手になった
- 入金を督促する請求書が届いている



家を訪ねたときに…

- 見慣れない段ボールや新しい商品がある
- カレンダーに不審な印がついている
- しつこい電話をうまく切れないで困っている
- 多くのダイレクトメールや請求書などの郵便物が届いている
- 修理やリフォームを頻繁に行っている
- 来客がよくある（販売員や宅配業者など）

会話している時に…

- 急に親しい人ができたようだ
- 羽振りのいい話が多くなった
- 急に借金を申し出るようになった
- 特定の商品を買うよう強く勧めてくる
- お金に困っている様子が見られる
- 特定のサークルへの入会を急に勧める

地域で見かけたときに…

- 外出が急に増えたようだ
- 見知らぬ人に話しかけられていた
- 見慣れない人や車が入り出している（特に年金支給日前後）
- 業態のわからない店や会場に頻繁に入り出している



平成30年度 2～3月の終活講座です 詳しいことは消費生活センターにお問い合わせください

- | | | | |
|-------|----------------|-------|------------|
| 終活講座③ | 自分らしい最後を迎えるために | 2月13日 | 講師：小谷みどりさん |
| 終活講座④ | 現代のお葬式とお墓 | 3月1日 | 講師：小谷みどりさん |
| 終活講座⑤ | エンディングノートの書き方 | 3月13日 | 講師：吉田智さん |

どうして被害にあってしまうの？

高齢者の消費者トラブルの特徴

悪質業者は、高齢者の心理や生活環境につけこみ、言葉たくみに近づいてきます。高齢者の消費者トラブルに気づくためには、だましの手口を知るとともに、高齢者の心理を理解しておくことも大切です。

被害にあったことに気づかない

人は高齢になると少しずつ判断力が低下し、“あやしい”ことに気づくのが遅くなりがちです

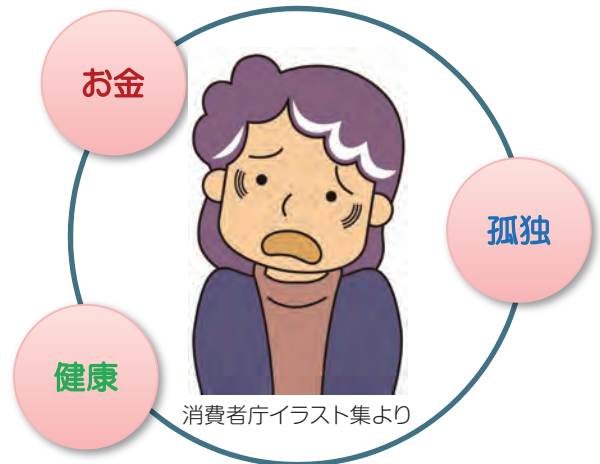
複数の被害にあっている

悪質業者は「だましやすい人」だと判断すると、あの手この手で次々と契約を迫ってきます

被害金額が高額である

高齢者の被害金額はしばしば非常に高額になります。言葉たくみに不当に高い商品売りつけます。

高齢者が抱える3つの不安（3K）



<地域包括支援センターより>

高齢者のこと何でもご相談ください

市内には4ヶ所の地域包括支援センターがあり、高齢者の困り事など、何でも相談にのっています。

介護が必要になったけど、
どうしたらいいの？

一人で生活している親を
見守ってほしい。

なんだか最近、近所の
高齢者が元気がない。

最近、家に怪しい人が
出入りしている。

詐欺の電話がかかってきて
困っている。

近所で気軽に話が出来る
ところはないかしら？

このような、困り事はありませんか？地域包括支援センターでは、高齢者に関する困りごと全般の相談にのっています。見守りが必要な方には見守りを調整し、消費者被害については、消費生活センターと連携を図り、対応いたします。困り事は、そのままにせず、解決しましょう。お気軽にご連絡ください。



清瀬市 地域包括支援センター

〒204-8511 清瀬市中里 5-842
清瀬市健康センター内
☎042-497-2082
受付時間 平日 8:30～17:00
担当地区 松山

きよせ社協 地域包括支援センター

〒204-0011 清瀬市下清戸 1-212-4
清瀬市コミュニティプラザひまわり内
☎042-495-5516
受付時間 平日 8:30～17:00
担当地区 上清戸・中清戸・下清戸・元町

きよせ信愛 地域包括支援センター

〒204-0024 清瀬市梅園 2-3-15
特別養護老人ホーム 信愛の園内
☎042-492-1850
受付時間 平日 8:30～17:00
担当地区 竹丘・梅園・野塩

きよせ清雅 地域包括支援センター

〒204-0003 清瀬市中里 5-91-2
特別養護老人ホーム 清雅苑内
☎042-495-1370
受付時間 平日 8:30～17:00
担当地区 中里・下宿・旭が丘

消費生活相談の現場から



高齢者の消費者被害

なぜ高齢者は消費者被害にあいやすいのか

キーワードは3つのK **金・健康・孤独**

● **金**…老後資金はいくらあったらいいのか、今の蓄えを増やしたい、子ども、孫にお金を残したい、銀行預金はタンス預金とほぼ変わらない

<そこを狙われて>

必ず儲かる? 仮想通貨・未公開株・社債(投資商法)、倍の値段で買い取るという別荘地(原野商法)、医療費の払い過ぎを返します(還付金詐欺)

● **健康**…衰えていく体力への不安、体調の悪さ、健康で長生きしたい

<そこを狙われて>

体の不調に対応するとうたう健康食品やマッサージ機、毎日の健康のためにと浄水器、健康運を招くという珠や財布の購入、祈祷



● **孤独**…一人暮らし、寂しい、相談相手がいない、誰かと話したい

<そこを狙われて>

営業マンの優しい言葉と、繰り返しの訪問で簡単に商品の契約(購入)をしてしまう

● **つまり、業者は、金、健康に対して不安や懸念をかきたて、懐に入り込んでそれらを解消するかなような提案(商品・役務)を勧めます。**

あれ? おや? と思ったら清瀬市消費生活センターに相談を!

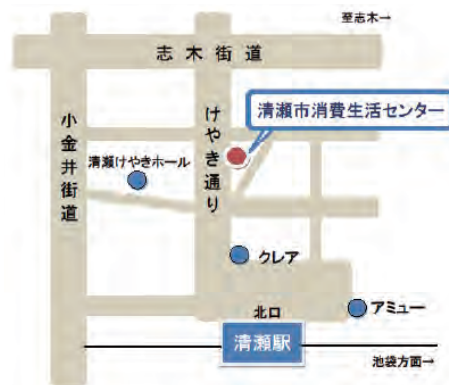
清瀬市消費生活センター

〒204-0021 東京都清瀬市元町1-4-17
【電話】042(495)6211
【FAX】042(495)6221
【開館時間】午前9時~午後10時(月~土曜日)

消費生活相談

【相談専用電話】042(495)6212
【相談時間】月~金曜日(祝日・年末年始を除く)
午前10時~午後4時(正午~午後1時を除く)

※目の不自由な方のために「ちえのわ」の音訳CDを製作しています。ご希望の方はご連絡ください。



使用済み小型家電回収ボックスがあります。対象は20品目です。

【編集・発行】清瀬市消費生活センター 清瀬市消費生活センター運営委員会
【問い合わせ】清瀬市消費生活センター (電話) 042(495)6211